



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

8

No. 600



まちひと百景

みんなで体操！1・2・3・・・

7月10日(日)にスポーツセンターで開催された特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会には、朝早くにもかかわらず町内外より幼児から高齢者まで600名が集合、ラジオ体操で爽快な汗を流した。

今回の取り組みが本町の健康づくりに繋がることを期待するとともに、普段から一人ひとりが健康について気を遣い、考えていくことが必要ではと実感させてくれるよい機会となった。

- 留萌地区管楽器基礎講習会ほか・・・2
- 公民館講座「災害に備える」ほか・・・3
- 新しい農業委員決まるほか・・・4
- 苫前・古丹別神社祭・苫商祭ほか・・・5
- 地域社会貢献事業ほか・・・6
- 健康ばんざい・・・7
- 国民健康保険ガイド・・・8
- 国民年金・ファイヤー通信・・・9
- 学びの広場・・・10
- 住まいる情報・・・11
- 風車まつりギャラリー・・・12

まちの人口

人口/3,594人(男/1,701人:女/1,893人)
世帯数/1,633世帯 (7月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

演奏技術向上のために ～留萌地区管楽器基礎講習会が本町で開催



留萌地区吹奏楽連盟主催の留萌地区管楽器基礎講習会が6月19日(日)本町公民館と古丹別中学校を会場に開催され、本町以北の中学生・高校生などあわせて約120名の吹奏楽部員が集まり、管楽器の演奏技術向上に向けた講習を受講した。

指導は陸上自衛隊第2音楽隊の隊員約40名が各パートに分かれて午前と午後を通して実施、息の吸い方や音の出し方など細かいところまで指導を受けた生徒達は、メモをとるなど真剣に受講していた。

講習会後には、陸上自衛隊第2音楽隊によるミニコンサートも実施され、参加者には充実した講習会となったようだ。

地元で採れたスナガレイを子ども達に ～北るもい漁協青年部・女性部が提供～

昨年も町内の小中学校の給食用に提供されたスナガレイを本年も北るもい漁業協同組合苫前青年部(杉本武春部長)と同組合苫前女性部(久野絹枝部長)より頭を落とすなど下処理した約700枚を提供、うち半分の約350枚が6月20日(月)に学校給食メニューでカレイの唐揚げとして児童・生徒に振る舞われた。

苫前小学校(岩村直幸校長)1年生14名では、プレートに盛られたカレイを上手に箸でほぐして食べる児童もいる中、丸ごと食べようとする児童もいたが、口々に「おいしい」と言いながら完食してしまうほど好評だった。

今回は、9月にメニューとして提供される予定となっている。



建設災害・交通事故のない1年に ～苫前建設協会安全大会～



6月25日(金)町公民館で苫前建設協会(渡部一男会長)の安全大会が開催され、町内の建設業などの従業員等約100名が集まり、労働災害及び交通事故根絶に向け安全の確認を行った。

渡部会長は「各事業所で安全対策には万全を期していると思うが、この機会に再度確認し、労働災害や交通事故のない1年にしよう」と挨拶、来賓として森町長、羽幌警察署の一森則雄署長なども祝辞を述べた。

羽幌警察署の赤坂清孝地域交通課長より「交通事故防止について」の講話のあと、山本建設工業株式会社の石川祐紀さんより決意宣言が行われ、参加者も一層気を引き締めていた。

スタルヒン杯スポーツ少年団留萌支部予選大会で古丹別サンダースが2連覇

6月25日(土)、26日(日)に本町野球場ほかで開催された第32回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会において古丹別サンダースが優勝、昨年に引き続き見事2連覇を達成、全道大会の出場権を獲得した。

古丹別サンダースは、1回戦で天塩タイガースと対戦11-0、2回戦は沖見野球スポーツ少年団(留萌)に9-1、準決勝では緑友マンゲース(留萌)に15-1と順調に勝ち進み、決勝は小平ファイターズと対戦、序盤は1-2とリードされたが、4回に2点を取り逆転、5回に1点、最終回にも3点を追加、ダメ押しで小平ファイターズを突き放した。

7月14日(木)には、大会優勝の報告と全道大会出場のため、古丹別サンダースのメンバーと関係者が町長を表敬訪問した。森町長からは「6年生が少ない中、優勝できたことは素晴らしい。全道大会では強いチームが出場すると思うが、みんなが協力のびのびとしたプレーでいい成績を残してほしい」とエールを送った。松浦隆史コーチも「予選大会では、多くの町民に応援していただき感謝している。苫前町の代表として留萌管内の代表として1つでも多く勝ち、名を上げられるよう頑張りたい」と述べたあと、メンバー一人ひとりが意気込みを述べ、勝利を誓っていた。



第32回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会留萌支部予選大会：決勝スコア

	1	2	3	4	5	6	7	計
古丹別	0	1	0	2	1	0	3	7
小平	2	0	0	0	0	0	0	2



災害で生き残るための行動を考える ～公民館講座「災害に備える」～

公民館講座「災害に備える」の2回目が6月30日(木)に公民館で約40名が参加し開催された。

この日は5～6名のグループに分かれ、自分の意見を付箋に書いてまとめるなどのワークショップ形式で行われ、「大きな地震が起こったときに行動することは何か」などの問いに一人ひとり付箋に記入、発表していた。

講師の役場総務財政課の成川敬課長補佐より「地震津波の話」を聞いた後、「大きな地震が起きた際に、どこに避難するか？」の問いでは、実際に地図を見ながらどこにどのように避難するかを真剣に考えていた。



ラジオ体操で健康に！

～特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会に約600名～



株式会社かんぼ生命保険、NHKなどの主催、苫前町や苫前町教育委員会共催による特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会が7月10日(日)に開催され、早朝6時からの実施にもかかわらず関係者を含め約600名がスポーツセンターに集まり、ラジオ体操で汗を流した。

当初は野球場での実施予定だったが、前日からの雨により会場をスポーツセンターに変更、実行委員が午前5時に集合し、会場の設営や受付などの準備を行い、開催をサポートした。また、苫前商業高等学校3年生の石山剛さん、川内雄太さん、工藤了輔さん、丹羽くららさん、相馬なつみさん、佐々木彩花さんの6名が協力、司会進行を務め、円滑な進行を行った。また、前日から本町で合宿をしている北海道のプロフットサルチームであるエスポラーダ北海道の

選手・スタッフや道北ラジオ体操連盟からも参加があった。

体操の講師には西川佳克さん、ピアノ伴奏は加藤由美子さん、体操のアシスタントとして金子梨沙さん、押味愛里沙さんが務め、午前6時にリハーサルを実施し、午前6時30分からの放送に向け参加者とともに声だし、拍手などの段取りを確認した。

午前6時30分からスタートだったが、NHKラジオの生放送とあって緊張感でいっぱい。参加者の表情も真剣にラジオ体操を行っていたが、収録OKの合図には会場から大きな拍手が沸き上がった。終了後には受付で参加記念品が配られ、参加者はすがすがしい表情で受け取っていた。

午前7時から、指導者講習会が実施され、講師の西川さんやアシスタントの金子さん、押味さんよりラジオ体操の正しい方法の直接指導を約80名ほどが受講、参加者からは「正しい方法でラジオ体操を実施したら、汗ばみ結構いい運動になる」との声も聞かれ、運動の効果を実感していた。



hon-Cafe(ホンカフェ)で苫前商業高等学校吹奏楽部が演奏



夜間に図書室を開放する公民館図書室事業のhon-cafe(ホンカフェ)を7月14日(木)に開催、そこで苫前商業高等学校(小笠原茂美校長)吹奏楽部8名と顧問2名の計10名が生演奏を披露し、来場者約30名を楽しませた。

これまで5・6月に実施された同事業では、CDによるBGMと温かい飲み物でもてなしていたが、今回は同高校吹奏楽部が町内で初めて曲を披露するとあっていつもより多くの来場があったようだ。

曲目も「江～姫たちの戦国～」 「篤姫」など大河ドラマの曲やディズニー映画アラジンの「ホール・ニュー・ワールド」、アンコール曲の「汐風のテーマ」の4曲を披露した。

今回の企画で担当の公民館図書室の安藤麻里図書司書は「演奏会を開催したことで初めて図書室に入った方もいて、今回の企画の成果が見られた。hon-cafeは8月のあと1回を残すのみだが、今後も継続して図書室を利用してほしい」と述べた。

一方、苫前商業高等学校吹奏楽部の丸山菜々(3年生)部長は「町民の皆さんに聞いてもらえることは大変嬉しく思う。このような機会があれば、ぜひ演奏したい」と今後も活動に意欲を燃やしていた。

新しい農業委員決まる

一般選挙は前回に続き無投票

苦前町農業委員会選挙が七月五日告示、一般選挙の定数と同数である八名の届出があり、同月十一日(月)に開催された選挙会において届出者をもって無投票による当選が決まったことから、同日に役場大会議室で当選証書付与式が行われ、内田靖生町選挙管理委員長より当選証書が付与、委員

を代表して永田紀男氏より挨拶で「今日ここに当選証書を付与、これから厳しい農業情勢の中、食料、農業、農村の発展、更には苦前町の農業の振興を図るため努力していくので、関係機関の皆さんの特段のご支援をお願いしたい」と述べられた。また、七月二十五日(月)には、農業共済組合、農業協

同組合、土地改良区、町議会から推薦された委員に対して辞令交付が行われた。辞令交付終了後の初総会では、会長に永田紀男氏、職務代理者に大川博文氏を選出、小委員会委員には、永田氏、大川氏、柴田敏文氏、丹羽秀夫氏の四名を選出した。初総会開催前には、今回退任された鈴木均氏(四期・一般選挙)、松原幸博氏(二期・共済推薦)、鈴木健明氏(三期・一般選挙)の三名にこれまでの功績を讃え、森町長から感謝状と記念品が贈られた。



小澤 肇(52)小川
(一般選挙・1期目)



花井幸重(61)九重
(一般選挙・4期目)



合田英一(61)東川
(一般選挙・1期目)



堀 豊昭(56)長島
(一般選挙・2期目)



伊藤俊雄(60)九重
(農協推薦・1期目)



村本 隆(59)昭和
(共済推薦・3期目)



丹羽秀夫(59)長島
(改良区推薦・3期目)
小委員会委員



柴田敏文(54)九重
(一般選挙・2期目)
小委員会委員



前川忠雄(47)香川
(一般選挙・2期目)



永田紀男(70)旭
(一般選挙・8期目)
会長



大川博文(57)三溪
(一般選挙・6期目)
職務代理者




大矢根正春(73)古丹別
(議会推薦・3期目)

無事故を祈願 ～とままえ夕陽ヶ丘ホワイトビーチで安全祈願祭～

本町での海水浴客による事故が無いよう祈願する安全祈願祭が7月15日(金)とままえ夕陽ヶ丘ホワイトビーチで森町長、星野恭司町議会議長など30名が参加し行われた。

前日からの雨によりテントの中で行われた祈願祭では、祝詞奏上、玉串奉てんの後、森町長は挨拶で「長年、事故のない運営が行われ、大変喜んでいる。本日はあいにくの雨で出だしがよくないが、今シーズンも万全の体制により無事故となるようご理解とご協力をお願いしたい」と述べた。同ビーチは、8月20日(土)までの約1ヶ月あまり開設される。




古丹別連合町内会へ放送機器を寄贈 ～社団法人留萌地方法人会苦前支部～

よき経営者をめざす団体として会員の積極的な自己啓発を支援、納税意識の向上と企業経営及び社会の健全な発展に貢献ため活動している社団法人留萌地方法人会苦前支部(渡部一男支部長)が7月15日(金)に古丹別連合町内会(大矢根正春会長)へ各種イベント等で活用できる放送機器一式を贈呈した。

古丹別連合町内会では、さくらまつりやふるさとまつりなどイベントを実施しているが、放送機器は借用したり、業者に依頼するなどして対応していた。

大矢根会長も「イベントの運営で大変助かる。様々な事業で活用させていただきたい」と述べていた。



7月は まつり三昧

古丹別神社祭



苫前神社祭



苫商祭 ～テーマ「百花繚乱」～



炎天下の中でも大盛況!

～第8回北海道風車まつり&第3回エビ籠オーナーin苫前～

第8回北海道風車まつり・第3回エビ籠オーナーin苫前が7月24日(日)にとままえ夕陽ヶ丘未来港公園において開催され、町内外より約6,000名の来場者で大いに賑わった。前の週はぐずついた天候が続いていたためイベント当日の天候も心配されたが、気温はそれほど高くはなかったものの強い日差しにより体感温度は高めを感じられた。

オープニングでは苫前中学校吹奏楽部による演奏、千葉國雄実行委員長、森町長の挨拶の後、エビ籠オーナーin苫前が行われた。有限会社苫前水産(太田隆史代表)所有の第28豊翔丸が1回の操業で水揚げした甘エビを容器に入れ持ち帰ることができるもので、事前にインターネットでの申し込みや当日来場した参加者あわせて351名が、我先に容器へ甘エビを山盛りにしてはこやかな表情で持ち帰った。中には5kg近くを持ち帰る方もいたが、今回より3kgちょうども当たるピタリ賞も設けられ、1名が見事ピタリ賞を当て、ニアピン賞の2名あわせて3名に景品として魚介類詰め合わせセットが贈呈された。

午後からはステージショーとして地元苫前鱒萃会によるYOSAKOIソーランや札幌市を中心に活動しているフォークデュオくろまる、懐かしのレトロショーとしてなでしこシスターズによる南京玉すだれ、そして全日本有線放送大賞新人賞を受賞した林あさ美さんの歌謡ショーが行われ、暑い中にもかかわらず声援や拍手が飛び交い、会場を盛り上げた。

アミューズメントコーナーでは、苫前建設協会による建設重機の操作体験、ミニ消防車に乗ることができる消防体験、大型遊具やネイルアート、カード似顔絵には子どもの列が絶えることがなかった。また、風の屋台村では、メロンなどの農産物、鮮魚などの海産物、シーフードカレーなどの飲食物、フリーマーケットにも多くの人が並び買い求めていた。



地域社会貢献事業

まちの施設を整備していただきました

運動会用備品の贈呈 ～萌州建設株式会社苫前支店～

6月9日(日)に萌州建設株式会社苫前支店(秋山貴人取締役苫前支店長)が古丹別小学校(高谷典義校長)に備品の贈呈を行った。

贈呈された備品は、運動会で使用する着順看板でこれまで使用していた着順看板が長年の使用で破損していたため、6月12日(日)に開催を控えていた運動会ではどのように対処するか検討していましたが、今回の贈呈のお陰で開催された運動会も無事終了することができました。

ありがとうございました。



野球場・苫商グラウンド等の整備 ～株式会社東北建設～

6月18日(土)に株式会社東北建設(菊池浩社長)が6月25、26日に本町で開催の第33回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会留萌支部大会に先立ち、会場となる野球場及び苫前商業高等学校グラウンドの整備を、また6月27日(月)にはハマナス公園の柵の撤去(約100m相当)を社会貢献事業で行った。お陰で少年野球大会も無事終了することができ、公園内の柵もきれいに撤去され、子ども達も安心して遊ぶことができます。

ありがとうございました。

海水浴場駐車帯の整備 ～未来セフティー～

7月20日(火)に留萌市の未来セフティー(菅敏幸代表)が海水浴場駐車帯の草刈り、駐車区画づくり及び駐車禁止区間の杭打ちとロープ張りなどを地域社会貢献事業として実施した。

これからの海水浴シーズンで町内外より多くの方が来場されるため、既存の駐車場以外の駐車スペースをどのように確保するか検討していたときに、申し出のお陰で来場者も安心して駐車できるようになりました。

ありがとうございました。



北海道風車まつりへの協力 ～白鳥建設工業株式会社～

7月21日(木)、24日(日)に留萌市の白鳥建設工業株式会社(堀松宏朗社長)が北海道風車まつり会場の草刈りとイベントに必要な発電機、交通整理員などの提供を地域社会貢献事業として実施した。

まつり当日は天候もよかったため、町内外よりたくさん来場者がお越しいただきましたが、申し出のお陰でイベントも事故なく盛会の内に終了することができました。

ありがとうございました。

第58回苫前町乳牛共進会

7月22日(金)上平共同利用模範牧場共進会場で乳牛共進会が開催され、町内の酪農家6戸より丹精込めて育てた自慢の31頭の乳牛が出陳された。

当日は快晴の中、月齢と出産の有無で分かれた8部門で株式会社十勝家畜人工授精所営業指導部の児玉辰司氏が1頭ずつ体の大きさやバランス、胸や脚の力強さなど丁寧にチェックし、各部門の順位とベストプロダクション賞などの賞を決定した。審査結果は、下記のとおり。



各 部	名 号	出陳者
第1部 未経産牛(6ヶ月～12ヶ月未満)	ウイング スーパーステイション ウイン	伊藤 雅史
第2部 未経産牛(12ヶ月～14ヶ月未満)	クレスト ジョハナ ポストン ヒロイン	中嶋 卓広
第3部 未経産牛(14ヶ月～18ヶ月未満)	ウイング パーンズ コロニー	伊藤 雅史
第4部 未経産牛(18ヶ月～22ヶ月未満)	クレスト マストロ シャトレ	中嶋 卓広
第5部 経産牛(30ヶ月未満)	フォーカスト ドルマン チャーマー	丹羽 秀樹
第6部 経産牛(30ヶ月～36ヶ月未満)	V ドルマン レモン	ビレッジファーム
第7部 経産牛(36ヶ月～48ヶ月未満)	TDC ロウ メロディ ET	苫前デイルークラブ
第8部 経産牛(48ヶ月以上)	ウイング マークド トイストーリー アルピナ	伊藤 雅史
ジュニアチャンピオン	クレスト ジョハナ ポストン ヒロイン	中嶋 卓広
最高位チャンピオン	TDC ロウ メロディ ET	苫前デイルークラブ
ベストプロダクション賞	グリーデイル Sストーム マジールカ ET	グリーデイルクラブ
ベストプロダクション賞	ウイング トイストーリー フィーパー	伊藤 雅史

「文芸」

(川柳)

祭り終え 次はお盆で 待つ供養
 故郷の 祭り見たさに 羅出る
 華やかな 熟す女も今は 賞味切れ
 泣き笑い 洗い流して 今日に生き
 満点の 星とジョッキで 夕涼み

(文責・鎌田)

苫前 小島 信子
 苫前 齊数 範章
 留萌市 芳賀 敏美
 札幌市 関 敬武
 苫前 鎌田 信夫

苫前川柳社